

山行報告書

日時	2017年3月4日(土)~5日(日)		天候	晴天
山名	伯耆大山(登山学校)			
CL	吉永(講師)	参加者	高藤(SL・講師)、坂田、岡崎、遠田	
(コース)	3月4日 07:50 直行P(集合) (中国自動車道経由) 14:30 大山寺P(大山寺付近にて雪上訓練) 16:00 榎原P		3月5日 06:30 榎原P発(大山寺Pに移動) 07:00 夏山登山口道入口 11:00~11:30 弥山 14:30 夏山登山口道入口 15:00 大山寺P発 (中国自動車道経由) 20:30 直方P着(解散)	
(コメント)	<p>登山学校(冬山登山訓練)を実施</p> <p>登山学校として、吉永・高藤両講師の指導のもとに大山における冬山登山の初心者訓練が行われ、岡崎・遠田(私)の両受講生のほか、坂田さんが参加した。</p> <p>大山を遠目に見たところ急な傾斜の稜線で、初めての雪山でアイゼン、ピッケルも未経験ということもあり、かなり不安であったが、事前に大山寺付近の斜面でアイゼン、ピッケルの使い方や注意点を教わりながら訓練を実施してもらい本番前に少しは安心することができた。</p> <p>登頂前夜は、駐車場の隅でテント泊することになり、いつものように宴会が始まって楽しい酒を飲み、いい気分のまま就寝したが、あまりの寒さに夜中目が覚めてしまい、その後、なかなか寝付けなかった。冬山を甘く見ていたわけではないが、寒冷用のシュラフではなく普通のものしか準備していなかったことを深く反省した。</p> <p>当日は、午前7時に登頂を開始したところ、すでに大勢の登山者の他、スノーボードやスキーを担いだ人も多く、人気の高さが伺えたが、山頂付近はガスに覆われており天候不順が予想された。傾斜が急になり始めた2合目でアイゼンを装着、6合目からはピッケルを使用し、途中大きなトラブルもなく、弥山山頂に到着したが、頂上避難小屋は屋根まで雪に埋まっているのを見て、積雪の深さを実感し、「この積雪の上を歩いて来たのだ。」と感激した。山頂に着くと、それまで覆われていたガスが奇跡的になくなって視界が開け、最高峰の剣ヶ峰も見ることができ、皆が感動していたのが印象的であった。</p> <p>雨や降雪もなく風も弱いなど天候が安定していたこともあり、下山も予定どおりで事故などのトラブルもなく冬山訓練を終えることができた。私にとっては、すべてが初めての本格的な冬山で、当初は不安があったものの、終えてみれば爽快感と達成感が一杯で、冬山の良さを感じることができた。</p> <p>このような貴重な体験をさせてもらい、指導してもらった講師の先生はじめ、同行してもらった方々に感謝しています。ありがとうございました。(記 遠田)</p>			
	  			
費用概算	(交通費/人) (その他/人)			